

平成23年6月7日

株式会社三菱東京UFJ銀行

## エジプトCommercial International Bankとの協働促進に関する覚書締結について

株式会社三菱東京UFJ銀行(頭取 <sup>ながやす</sup> 永易 <sup>かつのり</sup> 克典)は、エジプト地場大手民間銀行のCommercial International Bank(以下CIB)との協働促進に向けた覚書に、平成23年6月6日付で調印しました。

CIBは、エジプト国内に155の拠点ネットワークを有するエジプトの民間銀行で日系企業にもなじみのある銀行です。CIBと三菱東京UFJ銀行は、親密なコルレス銀行同士として既に長い取引実績がありますが、今般、エジプトに進出する日系企業へのサービス強化の観点から新たに覚書を締結することで、より強固かつ広範な協働促進を目指すこととしたものです。

近年、北アフリカへは日系企業が新たな生産拠点設置、新たな市場開拓の観点から強い興味を示しておりますが、なかでもエジプトは北アフリカ最大の人口(8千万人)を有し地理的に欧州、アラブ、アフリカへのアクセスが容易なことから、より注目度合いが増しています。三菱東京UFJ銀行は北アフリカでのビジネスを考える日系企業等の現地での取り組みを支援します。

今回の提携によりCIBは行内にジャパンデスクを設置し、これまで以上に日系企業との取引をサポートし、三菱東京UFJ銀行はジャパンデスクの活動を支援していきます。具体的には、CIBでの口座開設、貿易取引など金融サービスの提供が挙げられます。

三菱東京UFJ銀行は、1975年よりエジプトに駐在員事務所を設置し、現地情報を提供する等のサービスに努めてまいりましたが、今般のCIBとの提携により、一層密度の高いサービスの提供を目指してまいります。

以 上